ピケは る娘

働ピ小 気ケさ ば 仲はなた 間る H 赤旗 の娘い **か**のエ に守られ は手場 燃はの え凍 るえに

2. ピ高 哥 働 くケく う 仲は長ビ 間るいう の娘工に 歌の場包 は手のま 響は塀れ 凍にた

働ピ長ス くケいク 仲は苦ラ 間るしム の娘み固 夜のエく 明手場は けはのね は凍外か 近えにえ せ

働ピ若輝 くケいく 仲は力朝 間るを日 の娘未に 団の来照 結手のら 固はたさ い凍めれ え にて

働凍ピエ小守はくえケ場である。 燃仲てはのなれた 常問もる中白たくる。 娘にい 旗 の手

は

手ピ工高包 ま 凍はの長れ 長れだだった

はケ場ぐ える塀 娘に



夜働手ピ工長はス3 明くはケ場いねク け伸凍はの苦かう は間える外しえム 近のて娘にみせ固

手ピ未若照輝はケ来いらく

